

# 令和2年度 全日本卓球選手権大会（ジュニアの部）県予選 開催・実施時の感染防止策

## 1. 当日の参加受付時の対応

- (1) 受付デスクに手指消毒剤を設置する。
- (2) 受付デスクにはビニールシートを設置する。
- (3) 本部席スタッフ（役員）はマスク・フェイスシールドを着用する。
- (4) 本部席での接触を極力避けるための措置として、
  - ① 参加料は、銀行振込とし当日の集金はしない。（小中学生は除く）
  - ② 参加料の領収書は、本部席横に設置した机に並べ、各校で持ち帰る。  
**（小中学生は参加料と引き換えにお渡しします。）**
  - ③ プログラム（組合せ）は事前にメールにて配信し、当日の配布はしない。  
**※ 小中学生の選手については、小学連・中体連の代表者にメールにて組合せをお送りしています。それぞれの代表者にお問い合わせください。**
  - ④ 「(様式2)健康状態申告用紙集約」提出用のトレイを設置する。生徒から回収した(様式1)健康状態申告用紙」も提出する。

## 2. 会場滞在中の注意事項

- (1) 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないようにアナウンスする。
- (2) 今大会における落とし物・忘れ物については、感染拡大防止の観点から、当日の試合が全て終了した時点で処分するので、荷物や貴重品は各自・各校で責任を持って管理するようアナウンスする。
- (3) 試合をしている時以外（受付時・着替え・観戦・表彰式等）は、必ずマスクを着用する。
- (4) マスクを着用していたとしても、大声での応援などは控える。
- (5) 観客席に座るときは、横にバッグを置くなどして、隣の人との距離を保つ。
- (6) ミーティングを開く際は、選手の間隔を十分に確保した上で行うこと。
- (7) 飲み物やタオル等、個人で用意した物については、他人と共有しないこと。
- (8) 観客は、無観客とする。  
(試合に負けた選手は、顧問の先生の指示を受け、速やかに帰宅すること。)

## 3. フロア内での試合について

- (1) フロアに入る際は、手指を消毒する。
- (2) 大会の進行状況を見ながら、必要に応じて換気を行う。
- (3) 選手同士の距離を保つため、卓球台の設置は十分な間隔を開けて（4m以上）設置する。  
(最大24台（8台×3列）)
- (4) 選手が使用するタオルは、卓球台の審判側のサイドライン下にかけること。
- (5) ベンチコーチは、各台の真後ろに座り、隣のコートとの距離を保つこと。また、必ずマスクを着用し、アドバイスは距離をとって行うこと。
- (6) ゲームごとのチェンジエンドは行わない。（会場の環境による）
- (7) タオルの共用はしない。また、飲料なども自分専用のものを飲み、回し飲みはしない。
- (8) 卓球台の上で手を拭いたり、シューズの裏を手で拭くことはしない。
- (9) 握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
- (10) 審判は、カウンターを使用せず、指にてカウントする。
- (11) 各試合終了後、その試合の敗者は、コートに設置しているミニコーンを卓球台の上に置き、サイドライン下（タオルが掛かっていた部分）を除菌シートで消毒する。
- (12) 各試合の審判は、試合終了後、対戦表と使用したピン球を本部席に持ってきて、ピン球は「回収箱」に、対戦表は進行係に渡して、次の対戦表を受け取り、次の審判に渡す。